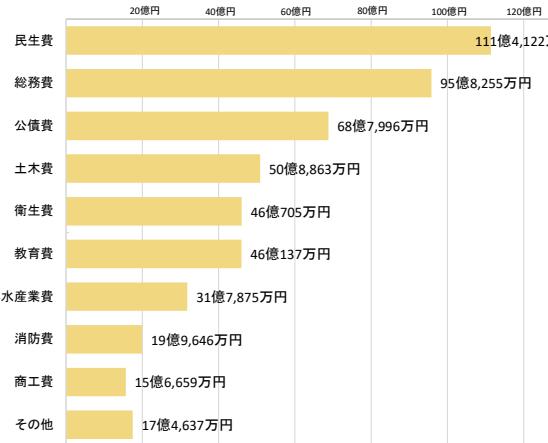


■目的別内訳■ 歳出は、目的別（どのような分野の行政サービスに使われているのか）からも見ることができます。



★ 民生費…高齢者、障がい者福祉や子育て支援の充実などに使われたお金です。
 ★ 総務費…行政の運営や市税の徴収、広報紙の発行などに使われたお金です。
 ★ 公債費…市の借入金返済のために使われたお金です。
 ★ 土木費…道路や住宅の整備などに使われたお金です。
 ★ 衛生費…ごみ処理や保健事業などに使われたお金です。
 ★ 教育費…学校教育の充実や生涯学習の推進などに使われたお金です。
 ★ 農林水産業費…農林水産業の振興などに使われたお金です。
 ★ 消防費…防災や救急活動などに使われたお金です。
 ★ 商工費…商工業や観光の振興に使われたお金です。
 ★ その他…議会費、労働費、災害復旧費、諸支出金です。

市民一人あたりでは、このくらいのお金が使われました

	民生費	総務費	公債費	土木費	衛生費	教育費
教育費	23万4,765円	20万1,921円	14万4,973円	10万7,226円	9万7,078円	4万2,069円

（令和7年3月31日現在の住民基本台帳人口47,457人で計算しています。）

◆特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など10会計があります。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差額残額
国 健 康 保 険	56億2,883万円	55億2,883万円	1億1,222万円
後 期 高 齢 者 医 療	9億3,888万円	9億2,243万円	1,645万円
介 護 保 険	89億3,087万円	85億5,122万円	3億7,965万円
小 水 力 発 電	3,709万円	3,709万円	0円
歌 代 の 里	2億3,224万円	2億3,224万円	0円
す こ や か 両 津	6億844万円	5億8,880万円	1,964万円
五 十 里 財 産 区	88万円	13万円	75万円
二 宮 財 産 区	351万円	191万円	160万円
新 畑 野 財 産 区	132万円	130万円	2万円
真 野 財 産 区	340万円	218万円	122万円

◆公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計があります。

○水道事業会計

区分	決算額
収益的収支※5	収入 26億3,909万円
	支出 24億6,195万円
資本的収支※6	収入 10億4,133万円
	支出 21億502万円

○下水道事業会計

区分	決算額
収益的収支※5	収入 32億3,780万円
	支出 31億5,631万円
資本的収支※6	収入 19億3,364万円
	支出 25億2,953万円

○病院事業会計

区分	決算額
収益的収支※5	収入 15億745万円
	支出 18億4,387万円
資本的収支※6	収入 47億6,238万円
	支出 47億1,931万円

※5 収益的収支 経営活動で発生する収益とそれに応じる経費です。
 ※6 資本的収支 将来の経営活動に備えて行う建設改良費や企業償債還金などの支出とその財源となる収入です。

令和6年度 決算報告

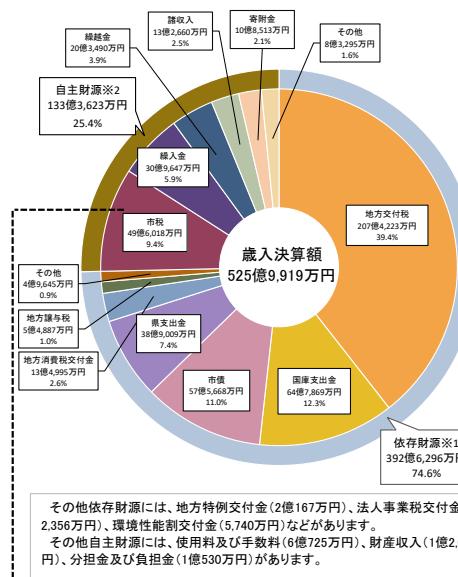
皆さまから納めていただいた税金などがどのように使われ、どのように財政が運営されているのかを知つてもらうために、市では毎年2回財政事情を公表しています。

◆一般会計

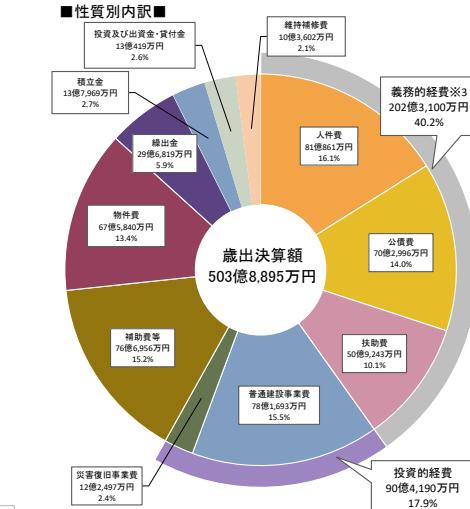
一般会計の決算額は、歳入が525億9,919万円、歳出は503億8,895万円となりました。

形式収支（歳入歳出差引）は22億1,024万円の黒字となり、ここから翌年度へ繰越すべき財源7億1,935万円を差し引いた実質収支は、14億9,089万円の黒字となりました。

＜歳入＞ 前年度に比べ10億6,600万円減額となりました。



＜歳出＞ 前年度に比べ12億4,134万円減額となりました。



その他依存財源には、地方特例交付金（2億167万円）、法人事業費交付金（1億2,356万円）、環境性能割交付金（5,740万円）などがあります。

その他自主財源には、使用料及び手数料（6億725万円）、財産収入（1億2,040万円）、分担金及び負担金（1億530万円）があります。

※3 義務的経費 毎年必ず必要となる固定的な支出で、削減が難しい経費です。
 ※4 投資的経費 道路・学校・公共施設の整備など将来に残るものに支出される経費です。

■性質別内訳■

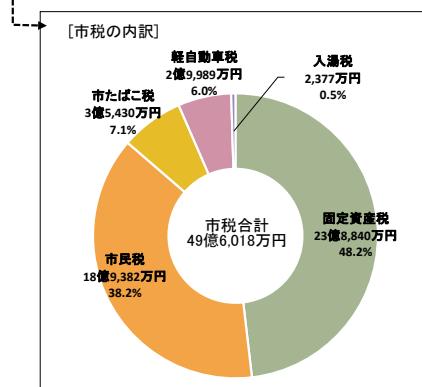
★ 人件費…職員給料のほか、議員や非常勤特別職の報酬などに使われたお金です。

★ 公債費…市の借入金返済のために使われたお金です。

★ 扶助費…生活保護など社会保障に使われたお金です。

★ 普通建設事業費…道路・学校・公共施設などの整備に使われたお金です。

★ 物件費…消耗品や備品の購入、各施設の維持管理などに使われたお金です。



※5 基金 年度間の財源調整や大規模災害などの不測の事態に備えて積み立てる財政調整基金や、「教育文化振興基金」、「トキ環境整備基金」などの特定の目的のために積み立て、準備してお資金があります。

労働費	3,826万円
■雇用促進の支援事業	3,481万円
市内事業所における人手不足解消のため、島内企業などと連携し、インターンシッピングイベント「SADO JOB」の開催や、単発や短時間の仕事を基本とした求人求職マッチングサイト「さどマッチボックス」を運営しました。また、学生などのUIターン就職を促進するため、新たに市内企業の企業・求人情報を集約したポータルサイト「COMPASS」の運営を開始しました。	
農林水産業費	31億7,875万円
■森林環境整備事業	4,066万円
佐渡産材の普及啓発事業により木材の市内循環につなげるとともに、建設業などの異業種による伐採・集積を試行的に実施し、林業活性化に向けた検証を行いました。また、電線周りのスギなどを伐採し、中低木の樹種を植栽することで、将来的に施設に影響の少ない環境をつくるとともに防災力の強化を図りました。	
■水産振興事業	1,184万円
漁業の担い手確保のため、漁業と人材不足となっている産業の組み合わせによる就業モデルを構築し、新規漁業就業者を募集、育成、サポートする「半漁半X事業」をスタートさせました。島内において1名の新規就業者の受け入れにつながりました。	
商工費	15億6,659万円
■持続可能な観光推進に向けた受け入れ環境整備事業	3,862万円
「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録を見据え、史跡佐渡金山周辺エリアの周遊バスやライナーバスの運行により来訪者の二次交通手段を確保しました。また、来訪者の利便性を向上させるため、キャッシュレス決済端末の導入に対する補助を行いました。	
土木費	50億8,863万円
■耐震診断改修等事業	300万円
令和6年の能登半島地震により被害を受けたことを踏まえ、市内においても住宅の耐震性能の向上を図るため、木造住宅の耐震診断・改修などに係る補助を行いました。	
教育費	46億137万円
■国際教育SEA事業	228万円
スポーツに関する専門的な知識と技能を有する外国人青年をスポーツ国際交流員(SEA)として招致し、中学校部活動や保育園の訪問などを通じて、子どもたちが英語に触れながら身体を動かす機会の充実を図りました。子どもたちの異文化への興味や親しみを深めるとともに、スポーツを通じた国際交流を推進しました。	
■学校給食費補助事業(原油価格・物価高騰対策)	3,042万円
給食食材費の高騰分を支援し、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るとともに、安全安心な学校給食を提供しました。	

皆さまから納めていただいた大切な税金は、
さまざまな事業で使われています

令和6年度に行った主な事業の取り組みをご紹介します

総務費	95億8,255万円
■ゼロカーボンアイランド推進事業	4,429万円
再生可能エネルギーを活用した持続可能な島づくりのため、市施設への太陽光発電設備の導入を進めるとともに、EVのカーシェアリングや公用車への導入を進めました。また、市内の個人宅などに太陽光発電設備などの導入に対する助成を行いました。	
■重要伝統的建造物群保存事業	4,369万円
令和6年8月、小木町が国から重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。制度の周知や文化財の魅力を発信するため、パンフレットの作成や選定記念まち歩きを実施し、町並みの保存と活用を図りました。	
民生費	111億4,122万円
■老人福祉一般経費(佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会負担金)	6,446万円
持続可能な社会保障サービスの体制整備に向けて、佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会が実施する医療・介護・福祉の従事者確保に向けた取り組みを支援しました。	
■児童館・学童保育運営費	1億3,470万円
4月から新設した高千児童クラブを加えた市内14カ所の児童クラブの運営を民間委託し、年々増加するニーズに対応した柔軟な受け入れと、業務のICT化による利用者の利便性の向上を図りました。	
衛生費	46億705万円
■すこやかな妊娠・出産事業	2,348万円
新たに助産師による育児相談などを行う産後ケア事業を実施し、育児不安の解消や子どもの健やかな育ちを支援しました。また、妊娠婦の健診費用や不妊・不育症に悩む夫婦の治療費、市外医療機関への交通費などを助成し、経済的負担の軽減を図りました。	
■リサイクル推進事業	4,365万円
市民の皆さまや事業者の協力を得ながら、古紙、ペットボトル、廃食用油などのごみ分別回収を徹底して行うことで、ごみ減量化や資源としての循環的な利用につなげました。	